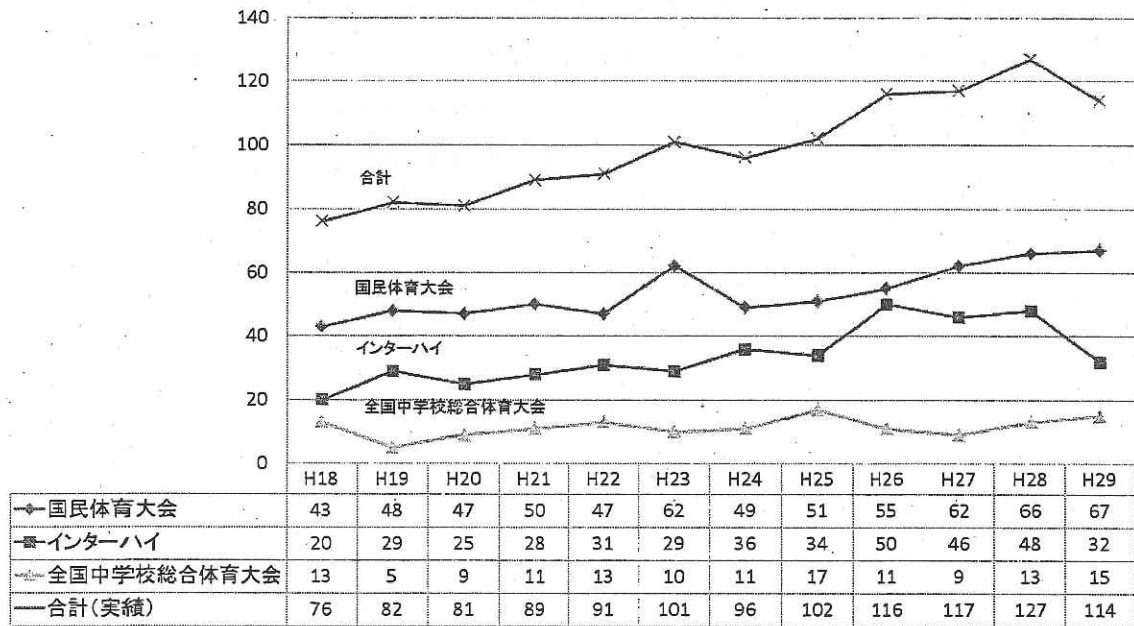


1 平成29年度の全国高校総体および国体で入賞した高校1・2年生選手について

| 競技名 | 種目 | 名前 | 学年 | 学校名 | 成績 | |
|------------|----------------|---------|--------|--------------|--------------------------------|---|
| 陸上競技 | 女子砲丸投 | 床辺 彩乃 | 1年 | 県立松阪商業高校 | 国体(※少年B)4位 | |
| 水泳(競泳) | 男子自由形50m | 別所 輝 | 1年 | 県立四日市高校 | 国体(※少年B)6位 | |
| 水泳(水球) | 男子団体 | 後藤 豪斗 | 2年 | 県立四日市中央工業高校 | 国体(団体)6位 | |
| | | 藤田 瑛騰 | 2年 | | | |
| | | 山田 凧航 | 1年 | | | |
| | | 畑 翔太郎 | 1年 | | | |
| | | 谷 建吾 | 1年 | | | |
| 体操競技 | 男子種目別あん馬 | 長崎 柊人 | 2年 | 暁高校 | インターハイ優勝 | |
| 体操(新体操) | 男子個人総合、ロープ、クラブ | 大野 哲平 | 2年 | 県立四日市高校 | インターハイ(個人総合)2位、(ロープ)3位、(クラブ)5位 | |
| テニス | 女子団体 | 女子ダブルス | 吉岡 希紗 | 2年 | 県立四日市商業高校 | インターハイ(団体)優勝、(ダブルス)2位 国体(団体)7位 |
| | | | 原田 真実子 | 2年 | | インターハイ(団体)優勝、(ダブルス)2位 |
| | | | 堤 華蓮 | 1年 | | インターハイ(団体)優勝 |
| ソフトテニス | 女子団体 | 女子個人 | 竹田 真樹 | 2年 | 三重高校 | インターハイ(団体)2位、(個人)5位 国体(団体)2位 |
| | | | 田川 美怜 | 2年 | | インターハイ(団体)2位 |
| 卓球 | 女子ダブルス | 白神 ひかる | 1年 | 県立白子高校 | インターハイ(ダブルス)3位 | |
| ハンドボール | 女子団体 | 服部 沙也加 | 2年 | 県立四日市商業高校 | 国体(団体)5位 | |
| | | 川島 菜々子 | 2年 | | | |
| | | 中西 玲奈 | 2年 | | | |
| | | 古川 瞳 | 1年 | | | |
| 柔道 | 女子57kg級 | 堂崎 月華 | 2年 | 県立名張高校 | インターハイ(個人)3位 | |
| | 女子78kg級 | 宮橋 光 | 2年 | | インターハイ(個人)3位 | |
| 弓道 | 男子団体 | 青井 海斗 | 2年 | 県立松阪工業高校 | 国体(団体)近的4位、遠的4位 | |
| ウエイトリフティング | 男子85kg級 | 増田 竜星 | 2年 | 県立亀山高校 | インターハイ(スナッチ)7位 | |
| レスリング | 男子学校対抗 | 男子50kg級 | 弓矢 暖人 | 1年 | 県立いなべ総合学園高校 | インターハイ(学校対抗)5位、インターハイ(個人)5位 国体(個人)優勝 |
| | | | 太田 陸斗 | 2年 | | インターハイ(学校対抗)5位 |
| | | | 徳力 貴太 | 2年 | | インターハイ(学校対抗)5位 |
| | | | 徳力 哲太 | 1年 | | インターハイ(学校対抗)5位 |
| | | | 山崎 然生 | 1年 | | インターハイ(学校対抗)5位 |
| | 女子49kg級 | 吉岡 紗希 | 2年 | インターハイ(個人)3位 | | |
| なぎなた | 団体 | 長田 梨奈 | 1年 | 高田高校 | インターハイ(団体)5位 | |
| | | 直田 幸穂 | 1年 | | | |
| | | 中尾 桜子 | 1年 | | | |
| ゴルフ | 男子団体 | 山中 頌 | 2年 | 県立いなべ総合学園高校 | 国体(団体)2位 | |

※少年B:平成13年4月2日以降に生まれた者(ただし、中学生は、3年生のみ)

2 全国大会等における入賞数の推移



3 少年選手の強化の取組について

「三重県競技力向上対策本部」（県スポーツ推進局所管）において平成33年の「三重とこわか国体」に向け、競技力向上の取組を計画的・総合的に進めているところです。中学生・高校生の選手強化に係る主な事業については次のとおりです。

平成30年度においては国民体育大会の天皇杯順位（男女総合成績）10位台、全国大会の入賞数を（「みえ県民カビジョン」における「競技スポーツ推進」に係る活動指標として）140件を目標としています。

(1) 高等学校運動部強化指定事業（予算額19,000千円）

全国・国際スポーツ大会で活躍が期待できるトップアスリートの育成を目指して、その中心となることが期待される高等学校運動部を指定し、強化活動を支援します。

(2) 中学校運動部強化指定事業（予算額1,263千円）

三重とこわか国体に向けた競技力向上が期待できる中学校運動部を強化指定し、強化活動を支援します。

(3) ジュニアクラブ強化指定事業（予算額3,000千円）

全国大会での活躍が期待できる中学生が所属するジュニアクラブを強化指定し、強化活動を支援します。

(4) チームみえジュニア育成事業 (予算額 20,000 千円)

H33年の「三重とわか国体」での活躍が期待できる「ターゲットエイジ」や、今後の全国大会で、活躍することが期待できる有望なジュニア選手(小・中学生)を「チームみえジュニア」として指定し、各競技団体で取り組む強化活動を支援し、長期的な競技力の向上を図ります。

(5) トップジュニア育成事業 (予算額 3,000 千円)

国際大会等で活躍が期待できるジュニア選手を「チームみえスーパージュニア」として指定し強化活動を支援します。

(6) チームみえ・コーチアカデミーセンター事業 (予算額 35,000 千円)

三重県の競技スポーツを担う人材を育むため、優れた指導者の養成と指導体制の構築を進めます。

